



- ・「コンテナ苗の利用拡大の取組」（森林整備第一課）
- ・地域との協力による森業の推進について（網走西部森林管理署）
- ・こんにちは森林官です！（共和森林事務所）
- ・『MAISON de HOTEL + ○ # 今 # vol.3』に出展

林野庁



北海道森林管理局

「コンテナ苗の利用拡大の取組」



コンテナ苗の栽培の様子

森林整備部 森林整備第一課

【コンテナ苗とは？】

コンテナ苗（写真1）は、硬質樹脂製などの専用の容器（コンテナ）（写真2）で育苗された、根鉢付きの苗木です。林業先進地である北欧などで実用化され、北海道では平成23年頃に導入されました。

普通の苗（以下、裸苗という）は、芽の成長が休止する休眠期（春と秋）に植栽を行います。一方、コンテナ苗は根と土が一体化した状態（根鉢）で植栽できるため、通常の植栽適期以外でも高い活着率が見込めます。このことから、植栽適期（春や秋）の拡大が期待でき、伐採・地拵え・植栽を一貫して行う作業システム（※1）の導入が可能となります。さらに、専用の植栽器具（写真3）を使用できることから、植栽が容易で苗の取り扱いが簡単といった利点があります。

本トピックスでは、北海道森林管理局で進めてきたこれまでの取組と、今後の方針について紹介します。

【コンテナ苗の植栽方法】

植栽は、主に以下の方法で行われています。

地拵え（植栽地の整備）後、専用の植栽器具を使い、根鉢上面と地表が一致する深さとなるように植穴をあけます。過湿地では少し地上に突き出るくらいの深さとします。その後、苗がまっすぐ立つように植え、乾燥が懸念される場合には、根鉢上面に軽く土をかけます。根鉢上面が地表より低くなる深植えは避けます。また、必要に応じて踏み固めを行います。

裸苗の場合は、苗木を植栽の現場に運んできたら一時的に植えておく作業（仮植）が必要ですが、コンテナ苗は根鉢があるため、この作業を省略することができます。

より効率的な苗木の生産と植付を目指し、コンテナで育てるコンテナ苗もあります。

コンテナから出しても根鉢の形が維持されます



この溝のおかげで
苗の根がまっすぐ
のびる



写真1：コンテナ苗



根鉢



写真2：コンテナ容器

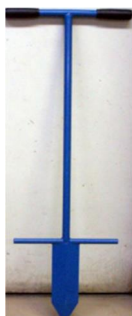


写真3：専用の植栽器具
(左：オーガ、右：スヘッド)



専用の器具
を使えば
立ったまま
楽々穴開け

根鉢と土壌が
くっつけば植付完了



【北海道森林管理局の取組】

1. コンテナ苗植栽本数の推移

北海道森林管理局では平成23年度から試験的にコンテナ苗を導入し、平成25年度には全道24箇所の森林管理（支）署に拡大しました。令和2年度には裸苗との割合が半々を超え、令和6年度には約7割となる1,388千本が植栽されています。（内訳：カラマツコンテナ苗689千本、クリーンラーチ（※2）コンテナ苗252千本、トドマツコンテナ苗420千本など）

2. 造林作業の軽労化に向けた取組

コンテナ苗は根鉢が付いているため、苗木の運搬に手間がかかるという課題があります。この対策として、令和7年度には、運搬と植栽を同時に進められる電動苗木運搬車（写真4）を試験的に使用した植栽を行いました。請負事業者からも「機械操作が簡単」「傾斜地での苗木運搬に便利」などの意見が寄せられています。（写真5）



写真4：電動苗木運搬車「斜楽」



写真5：植栽時の様子

3. コンテナ苗の普及活動

北海道森林管理局では「コンテナ苗」の考え方を定着・普及させるため、職員、国有林を請け負う林業事業者、並びに民有林担当者を対象に現地検討会を開

催しています。コンテナ苗導入に向けた方針の伝達や意見交換を行い、普及に努めています。（写真6）



写真6：実施した現地検討会の様子

【今後の取組】

林業従事者の人手不足や高齢化が深刻化する中、従来の植栽作業は人力による裸苗の植栽が主体でした。しかし、コンテナ苗の導入により、植栽作業の機械化や効率化が可能となることを見込まれます。

例えば、伐採・地拵え・植栽を一貫して行う作業システムを構築するには、植栽時期を選ばないコンテナ苗の使用が不可欠です。

また、裸苗と比べて植栽が容易で、苗木運搬や植え付け能率向上が期待できるため、植栽作業に従事する業者の減少や高齢化が進む中、コンテナ苗は持続可能な林業に欠かせない存在となります。

北海道森林管理局では、今後も造林作業に従事する方々の効率化及び軽労化（作業の軽減）を推進するため、新たな技術の研究等に率先して取り組み、各関係機関と協力しながら情報共有を続けていく考えです。

用語の解説

※1 「一貫作業システム」

伐採から植栽までを一体的に行う作業システムのことで、伐採時に使用した林業機械等を活用し、地拵えから植栽までの省力化・効率化を図ることによりコスト低減、工期の短縮が可能。

※2 「クリーンラーチ」

カラマツとグイマツをかけあわせて開発された特定苗木（特定母樹から採取された種穂から育成された苗木）。炭素を固定する能力が高い。

地域課題の解決に向けた取組

地域との協力による もりぎょう 森業の推進について

森業とは、環境保全や癒しなどの森林の価値を活かした取組

網走西部森林管理署

【はじめに】

網走西部森林管理署は、遠軽町及び湧別町に所在する約 10 万 6 千ヘクタールの国有林を管理しています。その広さは、エスコンフィールド北海道約 2 万個分に相当します。

当署が所在する遠軽町は、20 年前に白滝村、丸瀬布町、生田原町、遠軽町の 4 町村が合併して誕生しました。かつては白滝、丸瀬布、生田原の各地区に営林署があり、林業が盛んな地域です。

丸瀬布の「いこいの森」では、国内で唯一動態保存されている森林鉄道蒸気機関車「雨宮 21 号」が運行され、北海道遺産にも選定されています。当署は毎年、出庫式に招待され、地域と長年にわたり良好な関係を築いています。

【地域の現状】

管内の遠軽町白滝地区は、黒曜石の一大産地であり、日本ジオパークに認定されています。

さらに、令和 5 年には周辺の遺跡群から発掘された石器などの出土品が国宝に指定されました。遠軽町では、国宝指定を契機に、貴重な地域資源を地域振興や環境教育に活用する取組を進めています。

【白滝ジオパーク推進協議会との連携】

当署は、白滝ジオパーク推進協議会と協定を結びジオパーク活動に協力しています。今年 10 月には、黒曜石の露頭を見学する「黒曜石ジオツアー」に参加し、国有林の取組を PR しました。ツアーでは、当署作成のチラシを配布し、休憩時間には山頂に自生するマツの特性について解説しました。参加者の皆さんに、地質だけでなく森林の魅力も知っていただく機会となりました。ジオガイドの方からは「今後のガイドに生かします」との声をいただき、ジオパーク関係者との意見交換も実現し、地域とのつながりをさらに深める貴重な場となりました。

【今後に向けて】

黒曜石の産地が国有林内にあることから、地域の方と協力し、今後もこの貴重な資源を保全していきたいと考えています。遠軽町内には、林業に関連する施設等も多くあるため、地域の方と協力して森業の推進にも取り組んでいきます。



黒曜石ジオツアー

さらに、今年度からリーフアート（葉っぱの切り絵）を活用した森林環境教育も実施しており、地域の方々と交流する機会が増えています。今後も、より多くの方に森林に親しんでいただき、地域に愛される国有林を目指してまいります。



リーフアート（黒曜石キャラクター「いしのたからくん」）

こんにちは 森林官です！

後志森林管理署 共和森林事務所
森林官 江刺 光浩

【森林事務所の概要】

共和森林事務所は、北海道西部にある積丹半島の付け根に広がる岩内平野に位置する共和町にあり、共和町・岩内町・泊村・神恵内村の国有林、4町村合わせて約 33,500 ヘクタールを管轄しています。

管轄区域内には、ニセコ積丹小樽国定公園が含まれており、海域・山系ともに優れた景観を有する地域です。

【地域の特徴】

共和町には、全国 108 箇所のレクリエーションの森のうち、特に訪れていただきたい 20 箇所「日本美しの森 お薦め国有林」に選ばれている「ニセコ・神仙沼自然休養林」があり、神仙沼を中心とした、大小様々な湖沼や湿原が人気のスポットになっています。



また、共和町は、スイカ・メロンの生産が盛んで、「らいでんブランド」として、全国に出荷されています。

【森林事務所の主な業務】

現在の業務は、主に素材生産事業（間伐等により伐採した木を製材所等に供給するため丸太に加工する事業）や造林事業（森林を育てるため、苗

木を植え、下刈りや除伐などで樹木の成長を促す事業）の監督です。

北海道の林業においては、担い手の確保、低コスト化や省力化が現状の課題です。そのために国有林では様々な取組を行っており、当森林事務所管内においても、伐採から地拵えまでを大型機械により一括して行い、コンテナ苗を活用した森林整備事業を実施しています。

また、5 年を 1 期として伐採や更新の箇所を定める次期国有林野施業実施計画の令和 10 年度樹立に向け、管轄区域内で地況林況等調査を実施しています。

【最後に】

新聞・TV 等で、クマの出没情報が多数報道されています。我々の仕事は、山深くで行われることが多いこともあり、クマの本体及び痕跡を確認することもあります。入林なさる際には、十分に注意し、痕跡や違和感を覚えた際には、無理せず下山されることをお勧めいたします。

また、道路を走行中も、鹿の飛び出しには十分に注意してください。我々も、腰に鈴をつけ、クマ対策スプレーを携行して業務を行っています。





11月6日（木曜日）～8日（土曜日）の3日間、札幌市のザ ロイヤルパーク キャンパスホテル札幌大通公園及び丸井今井札幌本店を会場に、北海道文化マテリアル協会が主催するイベント『MAISON de HOTEL +O#今# vol.3』が開催されました。北海道森林管理局も本イベントに出展し、国有林の魅力を広くPRしました。

このイベントは、北海道の素材を通じて地域や文化とのつながりを創出し、ものづくりを通じて社会課題の解決と市民生活への貢献を目指すものです。

【北海道森林管理局の取組】

当局は、若手有志が中心となって、丸井今井札幌本店地下2階にて、森林の循環利用や山の仕事を紹介するイラスト・写真のパネル展示を実施しました。さらに、『北の森漫画』や『フォレスピカード(※)』を配布し、来場者に国有林の魅力を身近に感じていただきました。



丸井今井札幌本店地下2階の展示ブース



森林の循環利用のイラスト



山の仕事を紹介する写真



配布物（北の森漫画・フォレスピカードなど）



国有林の取組や配布物について説明

今回配布したフォレスピカードは、イタヤカエデ・エゾヤマザクラ・シナノキ・シラカバ・ヤマグワの5種類。特に、エゾヤマザクラが人気で、子どもから大人まで多くの方に喜んでいただきました。

※フォレスピカードとは、北海道の森の木を擬人化したキャラクター「フォレストスピリッツ(森の妖精たち)」のカードです。



フォレスピカードを選ぶ子どもたち

【トークイベントで森林の魅力を発信】

11月6日夜には、ホテルラウンジでトークイベントを開催。北海道木材組合連合会の内田副会長と当局職員の平田が司会を務め、会場を盛り上げました。



熱気と笑顔が交差する、最高のひととき

【アンケート調査と今後の取組】

約700名の方にアンケート調査へご協力いただき、貴重なご意見をいただきました。これらの声を今後の広報活動に活かしていきます。

今後も国有林の魅力を発信し、地域とともに歩む取組を進めてまいります。



多くの方にご協力いただきました

各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

タワーヤード現地見学会 (えりも町)を開催



【日高南部森林管理署】

11月19日、ひだか南森林組合が所有するタワーヤードが稼働中のえりも町有林内において、国有林野職員向け「タワーヤード現地見学会」を開催しました。道内で初のタワーヤード実稼働という貴重な機会ということで、ひだか南森林組合に協力依頼し現場の提供が実現しました。北海道森林管理局及び近隣の森林管理署から職員42名が参加しました。



遠軽町立遠軽小学校で リーフアートのワーク ショップを開催



【網走西部森林管理署】

11月16日、遠軽町立遠軽小学校にてリーフアート（樹木の葉を切り抜いて作る切り絵）のワークショップを開催しました。同校の児童および保護者39名が参加。今回のモチーフは遠軽町にある国宝「北海道白滝遺跡群出土品」の黒曜石イメージキャラクター「いしのたからくん」のため、手足や表情などに細かいパーツが多く、丁寧な作業が必要ですが、大人も子どもも集中して、完成度の高い作品を作り上げました。



無下刈りのクリーン ラッチコンテナ苗の 造林地を紹介



【十勝西部森林管理署東大雪支署】

北海道新得町の屈足国有林では、平成30年度に大型機械による地拵えを実施し、クリーンラッチのコンテナ苗を植栽しました。下刈り作業の省力化を目指したこの取組は、植栽2年目には平均苗長が170cmを超え、下刈りを行わない「無下刈り」を達成しました。令和7年度には平均苗長が7mを超えるまでに成長し、順調な成果を上げています。11月には、この造林地を舞台に2回の現地説明会を開催しました。



大型機械地拵の現地 検討会を開催



【根釧東部森林管理署】

11月14日、中標津町内の国有林において、民有林で造林事業を受発注されている方々を対象に、大型機械地拵の現地検討会を開催しました。当署では、地拵作業の低コスト化及び軽労化を図るため、大型機械による地拵の普及拡大を進めています。本検討会は、民有林で事業を行っている関係者に大型機械地拵について理解を深めてもらうことを目的として開催。当日は、総勢26名が参加し、大型機械による地拵作業を見学しました。



広報 「北の森林 国有林」 12月号
発行 林野庁北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課

〒064-8537

札幌市中央区宮の森3条7丁目70

電話 011-622-5213

HP <https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>



【今月の表紙 駒ヶ岳】

今月の表紙は、駒ヶ岳の美しい風景です。
冬場に飛来する白鳥
や美しい写真撮影を楽しむことのできるお薦めのスポットです。



今月の表紙